

「長野市中心市街地活性化協議会 設立説明会」での意見

説明会実施：平成18年10月23日(月)～27日(金) 資料2-2

分野	強み	弱み	提案・検討事項
都市基盤		・中央通りは緑が少ない。	・歩行者のうるおいスペース設置
商業		・中心市街地の商店街は夕方早い時間に閉まってしまう。 ・中央通りで歩行者天国をやっても大きなイベントがないと人が歩いてない。	
観光	・年間600万人の観光客を集める善光寺 ・歴史や史跡などの地域資源が多い表参道	・善光寺北側の駐車場(裏から善光寺に入る観光客が多い) ・観光バスの駐車場が中央通り側でない。 ・昔に比べて中央通りを歩いて善光寺に向かう人が減った。 ・市民の観光客への対応が良くない(まちの知識も不十分)	・善光寺駐車場の代替(用地、収益等) ・善光寺の南側への駐車場確保
景観	・門前町の町並み	・中央通り沿いに高層マンションが増え表参道の眺望が失われる。 ・市民合意が不十分なまま、まちを台無しにする建物が建ってしまう(西光寺の裏など)。	
交通		・門前町にふさわしい駅舎が失われた。	・仏閣型駅舎の復活
居住		・県町通りに住む人が減少した。 ・郊外に住む人が増え、中心市街地の夜間人口が減った。 ・人がいなくなりまちを把握できなくなった。(外灯が壊れても気づくのが遅れる)	
事業所・職場			
医療	・中央通りには薬局が多い。	・駐車場がないため中心市街地の薬局は苦戦している。 ・ユニークな薬屋も段々なくなってしまった。	
社会福祉		・中心市街地には一人暮らしの高齢者が多い。 ・親子連れをなかなか中心市街地に引っ張り出せない。	・一人暮らしの高齢者の情報交換の場づくり。(空き店舗活用) ・親子連れが行きたくなるまちの検討。
教育		・街なかに魅力ある教育機関がない。 ・善光寺の歴史を知らない市民が多い。小学校や家庭でも教えていない。	・統廃合小学校の後活用 ・教育機関の充実
文化		・野外舞台は会場確保が難しい。(以前利用したセントラルスクエアも現在利用不可)	
新事業 (産学連携、情報)			
人材・後継者			
まちづくり全般		・まちづくりのワークショップは過去にも数多く行われているが、実際に都市計画に取り入れるのはうまくいっていない。 ・市民に中心市街地に対する興味がない。 ・市のまちづくりにはストーリー性、夢がない。 ・小さなボランティアグループが様々な活動をしているが、そういうグループの思いや声が、大きな組織になかなか反映されない。	・善光寺ブランドを核に据えつつ共倒れにならないブランドを築く。 ・高齢者向けのまちづくりと同時に、若い人を引き付けるモダンで斬新な空間づくり。 ・長期的展望の中で抜本的にまちを変える発想。 ・長野市周辺の人(戸隠、鬼無里、中野、須坂など)が来たいと思うまちの検討 ・「モノ」を売る商売は難しいので、文化、教養、娯楽などの「コト」を起こし見に行く、参加する人を集める。 ・目先の要望ではなく高い視点でのコンセプトづくり ・法律などの専門知識がなくても市民が参加できる場づくり。 ・外から長野に来た人へのアンケート実施。 ・便利で快適な中心市街地は高齢者のまち、郊外は若者のまちという志向。 ・異分野同士が集まって話し合える場づくり。